

2008年7月16日

各 位

オリックス不動産株式会社

京都市と協力して自然と人とのコミュニケーション空間を創造

梅小路公園(京都市)に日本初の内陸型大規模水族館を提案

オリックス不動産株式会社(本社:東京都港区、社長:西名 弘明)は、京都市下京区観喜寺町の梅小路公園にて市の所有地を賃借し、2011年度の開業を目指して「京都水族館(仮称)」を展開することを京都市へ提案しましたのでお知らせいたします。

なお、実現すれば、内陸型大規模水族館としては日本初(*1)、また、京都市内初の水族館となります。

「京都水族館」は「つながる生命(いのち)」をメインテーマに、動物たちの世界を体感し、動物たちとの共存について考えていく環境創造施設です。梅小路公園の豊富な自然と多彩な文化資源を最大限に活用し、巧みなプログラムと演出技術によって、人の五感に「動物たちの世界」、「水の世界」を訴えかけていきます。

また、「京都水族館」は水文化と環境宣言の都市「京都」にふさわしい「環境教育の場」や「文化・交流・賑わいの拠点」として京都市の発展に寄与するとともに、「環境共生型水族館」として京都で暮らす方々や観光に訪れる人々へ豊かで充実した時間をご提供します。特に、プログラムを京都市と共同で企画・運営する体験学習では、子どもたちをはじめ、幅広い年齢層へ環境学習などを実施します。

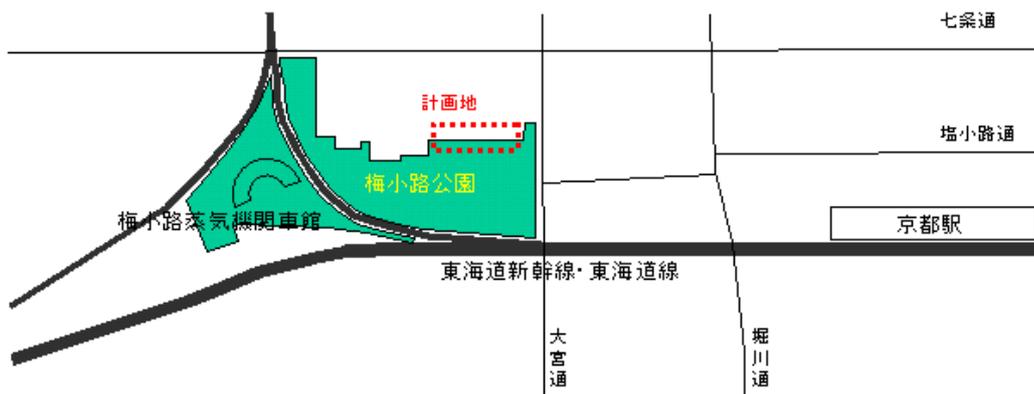
オリックス不動産は2004年4月より、神奈川県とのPFI事業である「新江ノ島水族館」を運営しています。「京都水族館」が実現すれば、「新江ノ島水族館」との連携を積極的に行う他、両拠点をベースとした水族館のネットワークを構築し、今までになかった新しい「エデュテインメント事業(*2)」として全国に展開することで、自然と人とのコミュニケーション空間の創造に貢献していきたいと考えています。

(*1)オリックス不動産調べ。内陸型大規模水族館を沿岸部まで50km、延床面積10,000㎡以上と定義。

(*2)「エデュテインメント」とは、教育(エデュケーション)と娯楽(エンターテインメント)を合成した言葉。

【「京都水族館」(仮称) 計画 提案概要】

所在地：京都府京都市下京区観喜寺町
(梅小路公園内のメイン園路北側区域(公園の北東側部分)及び京神倉庫跡地)
交通：東海道本線「京都」駅・山陰本線「丹波口」駅から徒歩約15分
市バス「梅小路公園前」下車
敷地面積：約10,000㎡(予定)
延床面積：約14,000㎡(予定)
建物規模：地上3階(予定)
構造：鉄筋コンクリート造
設計施工：未定
開業予定：2011年度
入場者数：初年度200万人(目標)



【周辺地図】

【ご参考】

本リリースは、『京都市政記者クラブ』および『東商記者クラブ』で同時配布させていただきます。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

オリックス不動産(株)社長室 永井 tel : 03-3435-3411

【イメージ図】



【内 観 】(イメージ)



【内 観 】(イメージ)



【内 観】(イメージ)



【内 観】(イメージ)